



作品名

大三東駅と幸せの黄色いハンカチ

コンセプト

鏡を使った奥行きのある海と風に揺れるハンカチ

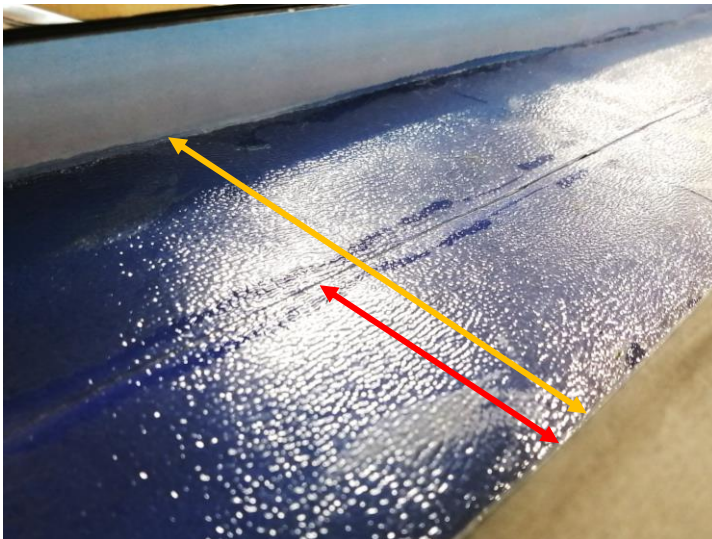
参考にした場所など

島原鉄道「大三東駅」

【鏡によって広がる海と空】

奥行きの限られる直線モジュールにおいて、鏡を使って反射させることでモジュールの幅以上に奥行きのある海を表現しました。

また鏡に映る堤防の裏面に対岸の熊本や空の写真を貼ることで、海の向こうに空が広がる風景を再現しました。



↑ 堤防裏に対岸の風景

← 鏡を使うことで、元の2倍の奥行き



【風に揺れる黄色いハンカチ】

大三東駅を再現する上でメインとなる黄色いハンカチは1/150スケールで作ると1mm四方のサイズになってしまい、何か分からない状態になります。そこで、実際のスケールを無視して大きめに作ることで、その存在感を出しました。また、切り出した黄色い紙を1枚1枚ていねいに貼り、風に揺れている様子を再現していきました。